

梅雨に入ったのに全然雨が降らず、水不足にならないか心配でしたが、先週の雨でダムの貯水率は80パーセントに回復しました。ホッと一安心です。

## <高松張子>

香川県の伝統工芸の一つに「高松張子<sup>はりこ</sup>」があります。

高松市の鍛冶屋町周辺では昔から人形などの玩具が多く作られていました。一番有名なのは「奉公さん」と呼ばれる女の子の張子人形です。

むかしむかし、重病にかかったお姫様に代わって、自分に病気をうつし、島に流されて亡くなった「おまき」という女の子がモデルになったと言われてい

ます。子どもが病気になると、奉公さんを抱かせてその後海に流すと病気が治る、という言い伝えが残っています。奉公さんは子どもを守ってくれる大切な人形なのです。

おかつば頭になっこと微笑んだ顔、赤い着物を着た可愛らしい奉公さん。見ていると心が和みます。

他に干支や犬、ネコ、アザラシなどの張子もあり、一つ一つ表情が少しずつ違っているのも手作りならではの。

温かみのある張子人形が、この先もずっと作られていくように願っています。



奉公さん



おいり

### 嫁入りおいり

結婚式の引き出物といえば何を思い浮かべますか？

香川県西部（西讃）では「おいり」というお菓子が引き出ものに使われます。色とりどりのまん丸いあられのような餅菓子です。昔、丸亀城主に生駒親正が任命された頃、領下の農民が、姫君のお輿入れのお祝いに五色の煎りあられを献上したところ、大変喜ばれたそうで、これがおいりの元祖といわれています。「火煎り」と「嫁入り」をかけて「おいり」という名前になったそうです。

口に入れるとサクッととけてほんのり甘く、かすかにニッキの味がします。見た目も華やかでお祝いごとにはぴったりのお菓子です。